



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2025.8.6
NO.007

原爆投下から80年

今こそ一人ひとりが平和について考え
行動することが重要だ！

1945年8月6日8時15分、広島市の上空が目もくらむ閃光を放ち、地形をも変形させる灼熱の炎が広島市を包み込んでから80年が経過しました。私たちは原爆の悲劇を忘れてはいけません。あの日、一瞬で多くの命が奪われ、今もなお苦しみ続ける人々があります。世界各地では依然として争いや核の脅威が絶えません。だからこそ、私たちは過去を教訓に、命の尊さと平和の大切さを次世代に伝え続ける責任があります。対話と共存の道を選び、誰もが安心して生きられる世界を築いていくことが、私たちにできる最も強い「平和への祈り」です。